



天白こじょう会だより

109号 2023/11



発行/天白こじょう会
名古屋市高年大学鯉城学園

<109号目次>

項 目	内 容	報告者	頁
表 紙	みんなの作品展より	川上 茂雄	－
目 次		－	2
会長挨拶	文化、スポーツの秋	小島 明	3
役員会報告	6月～9月	小島 明 青山 博美	3-5
活動報告	37期生向け第2回地域ミーティングを開催しました	青山 博美	6
	クリーンウォーキング活動に参加して	青山 博美	7-8
	鶴舞公園クリーンキャンペーンに参加して	戸谷 和代	
	こころの絆創膏キャンペーンに参加して	小島 明	
	ほほえみ訪問ボランティアに参加しました	戸谷 和代	9
	第22回みんなの作品展を終えて	市川 正信	10-16
	～写真撮影・編集	宮前 裕道	
	伝統が息づく有松の街並み散策と有松絞体験に参加して	新田 元廣	17
	松平郷・大河ドラマ館の見学と紙すき体験に参加しました	久野 清和	18
	御幸山ブロック今年度第1回行事の報告	佐々山 浩将	19
	植田ブロック会に参加して	青山 博美	
	南天白ブロック会に参加して	伊藤 初枝	20
	太極拳同好会初めての懇親会開催	新田 元廣	
	戸笠公園清掃仲間と共に	野々山 淑子	21
自由投稿	新潟県魚沼市・ランプの宿にて	斉藤 昌和	22
行事予定表	11月～3月	－	23
巻 末	短歌	斉藤 昌和	24
	訃報、編集後記他	－	

会長挨拶

文化、スポーツの秋

天白こじょう会 会長
32期 地域B 小島 明

コロナ感染症の扱いが5類に移行されたことにより社会的規制が大きく緩和され、行動半径は自己責任の下ではありますが、大きく広がりました。会員の皆さんも旅行、行楽と忙しい日々をお過ごしと思います。

天白こじょう会も9月に、4年ぶりに実施された「こころの絆創膏」や23日・24日のセンターまつり・みんなの作品展も皆様のご協力で無事に終える事が出来た事を感謝いたします。

作品点数は昨年より若干の増加、入場者数は残念ながら減少致しましたが、今回の企画である「体験作品の展示コーナー」は各区の来場者から非常に興味を持って頂きました。又、37期の現役生が2名来場されました。定期的な資料の配布も効果があったと思います。

11月には東スポーツセンターで「16区フェスティバル」があります。今年は新たに「ボッチャ」の競技が加わります。大勢の参加をお願い致します。

34期生を主とした新入会員の皆様も、愛護会、同好会、ボランティアと積極的にご参加頂き、有難うございます。会員数が減少する中で天白こじょう会が今後も存続出来る様、皆さんと一緒に会を盛り上げましょう。



役員会報告（R5年6月～R5年9月）

32期 地域B 小島 明
33期 地域A 青山 博美

役員会 6月10日(土) 天白在宅サービスセンター・研修室 21名出席

＊開会に先立ち、先日ご逝去された30期井熊重義さんのご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げた。

会 長：梅雨は中ほどで温度変化が大きい。体調管理、特に熱中症に注意されたい。ウィズコロナの中、わんぱく相撲やクリーンウォーキング等が行われ、来週も鶴舞クリーンキャンペーンが予定され、イベントの開催もコロナ禍前に戻ってきている。

各区の鯨城会の会員の推移を見ると天白区の減少率は大い。しかし7名の新入会員があり、積極的にイベントやボランティアに参加いただいているのが心強い。

鯨城会：・令和5年度の会員総数は2,050名で162名の減少。新入会員は89名。

・5月29日(月)にグラウンドゴルフ交歓会実行委員会(杉山委員出席)

幹事会の伊藤初枝さんが担当。開催日を10月18日に絞るか検討中。

・5月29日(月)に16区フェスティバル実行委員会(馬場委員出席)

ボッチャの採否、各競技種目への賛否を取った。昼休憩のアトラクションを出せないか。弁当は注文が良い。メンバーの少ない区の手配。最後の盆踊り(フォークダンスの賛成者は少ない)等が議論された。

・鯨城会費は昨年と同様、半額の150円/人となった。

広 報：・会報 108 号を編集中。表紙候補の投票依頼。価格値上げと印刷部数条件変更のため、印刷会社の変更等を検討中。会報の原稿に麻雀同好会の会員募集ビラ掲載の依頼があったが、紙面に載せるのは難しく、ホームページに掲載した。他の同好会も要望があれば応じる。

行 事：・5月25日(木)の「伝統が息づく有松の町並み散策と絞体験」参加者 22 名。

・センターまつりについて、昨年よりも規模を拡大、地域の参加を推進。

「みんなの作品展」に、先日やった有松絞を出してほしい。

ボ ラ：・5月28日(日)のわんぱく相撲に6名参加。但し殆どやることがなかった。

・6月3日(土)のクリーンウオーキング。原駅集合 16 名、植田中央公園 18 名参加。

・10月22日(日)の天白区民まつり。今年は実施の方向。23日(月)に片付けあり。

・6月9日(金)、久しぶりに養護老人ホーム「ほほえみ」を訪問。新田さんの歌集とギター伴奏で懐かしい歌を楽しんだ。参加者：こじょう会 6 名、入居者 9 名。

ブ ロ ッ ク 会：植田ブロック会(松川会長)を6月6日に「春帆亭」で開催。14 名が食事と歓談。

拡大役員会 7月11日(土) 生涯学習センター・第1集会室 38 名出席

袋詰め：・天白こじょう会だより 108 号 ・鯉城かわら版 R5-1 号、他

会 長：新型コロナは 5 類となり、社会の動きが大きくなり、鯉城会でも行事・ボランティアへの参加者が増え、活動が活発化しています。ただ、コロナに関しては第9波に入り、第8波より感染者が増大するとの情報もあります。発熱した方や体調不良を起こした方は、適切に医者に行ってくださいなど自己管理を十分をお願いします。

鯉城会：・6月16日(金)37 期向け地域ミーティング実施、参加者は 13 名/30 名。卒業後に入会すると回答した人は 3 名と少なかったが、出席して良かったと答えた人 11 名。

今後更にアピールしていき、10 名以上の新入会を目指す。

・グラウンドゴルフ交歓会は、予備日はなしと決定。

・16 区フェスティバルでは、ボッチャも種目となった。今後練習の機会を設ける。

弁当は、希望者はまとめて八百彦に注文することに決定。

広 報：・会報 108 号を本日袋詰め。今回から印刷所を変更。値上げ幅を縮小できた。次号 109 号の原稿を募集。但し 109 号は作品展特集となるので一般投稿は次号回しとなる可能性あり。

行 事：・6月21日(水)のバスツアー「松平郷・大河ドラマ館と紙漉き体験」参加者 35 名。

紙漉き体験の作品は、是非とも「みんなの作品展」に出展して頂きたい。

・9月22日(土)、23日(日)に「みんなの作品展」。出展依頼を本日袋詰め。

ボ ラ：・6月17日(土)鶴舞公園クリーンキャンペーン実施。天白こじょう会 12 名。学生は陶芸クラス 37 期 7 名、38 期 5 名参加。

同好会：・6月16日(金)太極拳同好会(馬場会長)「てんぐ大ホール」で懇親会開催。12 名参加。

役員会 8月12日(土) 天白在宅サービスセンター・研修室 22 名出席

会 長：自分事ですが酷い腹痛を起こし、初めて救急車のお世話になった。連日の猛暑による体力や免疫力の低下が原因で胃腸炎を起こした。日頃の体調管理が大事と痛感した。コロナについて5類への移行もあり、危機感が全体的に希薄化しているようであるが、依然として

感染者数は増加傾向である。改めて油断することなく、皆様のご自愛をお願いします。

鯨城会：・グラウンドゴルフ交歓会、10月18日(水)10:30~14:30、庄内緑地・陸上競技場に決定。昨年と同様、団体戦はなく個人戦のみ。参加者を募集します。

・16区フェスティバル、11月16日(木)東スポーツセンターで開催予定。競技種目は

① O×クイズ、②ボッチャ、③龍の玉送り。④玉入れ。最後に皆で民謡。

・3月7日(木)OB文化祭。伏見・鯨城ホールで。

総務：・8月7日(月)ボッチャ講習会を在宅センター研修室で実施。19名参加。

コートの手作り方、ルール説明、ゲームのやり方等。審判は予想以上に大変。

参加するだけなら容易だが、楽しむためにはもっと技能の向上が必要。

行事：・9月22・23日(土・日)みんなの作品展。基本は1部門2点/人とする。

有松絞、紙漉き作品の良い展示方法を提案してほしい。その他受付の方法など、昨年の反省を踏まえた注意点が出された。

*役員会終了後、作品展の担当者会議を開催。当日の役割等を調整。

ボラ：・7月18日(火)養護老人ホーム「ほほえみ」訪問(2回目)、こじょう会から7名参加。

・9月12日(火)こころの絆創膏、8~9時、地下鉄伏見駅にて実施予定。追加募集により充足できた。

・10月22日(日)天白区民まつり。(23日AM片付け)これも追加募集をした所、こちらも充足できた。

・「寿荘」の盆踊り、コロナがまだ蔓延しており、今年も手伝いは不要との連絡あり。

ブロック会：・御幸山ブロック会(佐々山会長)を7月25日(火)に開催。10名参加。

第1部はNHKスタジオ見学、第2部は嘉文本店で食事会。

役員会 9月9日(土) 天白在宅サービスセンター・研修室 28名出席

袋詰め：センターまつり案内、16区フェスの案内と参加申込書、常滑やきもの体験の案内、他

会長：9、10、11月は行事が一番多いシーズン。皆で力を合わせて楽しく・充実してやり遂げたい。ご協力をお願いする。特に本日袋詰めした16区フェスティバルについては、競技に出場して頂く以外にも、お弁当・競技者の誘導などへの協力要請があるので、その調整のためにも早く提出して頂きたい。

学園：・エコパル名古屋から講座の企画や運営・参加の依頼あり。資料を請求中。

・11、12月の地域ミーティング。38期向けはクラス数減少で今年は天白はなし。

12月1日(金)予定の37期向けミーティングは、11月24日(金)の共通講座での学生の発表内容を参考にグループワークを行う予定。

鯨城会：・グラウンドゴルフ交歓会、鯨城会全体の参加者は180名(昨年202名)、天白こじょう会は7名(昨年5名)予定。

・16区フェスティバル、11月16日(木)東スポーツセンターで開催予定。競技種目・

参加人員(各区分)は、①O×クイズ：全員、②ボッチャ：12名(但し今年は参考試合)、

③龍の玉送り：16名、④玉入れ：20名、⑤(アトラクション)民謡踊り：全員。

総務：・ボッチャが16区フェスにボッチャが採用されたことから練習を行う。9月26日他。

・天白こじょう会日より109号の原稿を募集中。締め切り9月19日。

行事：・センターまつりの案内を本日袋詰め。レジュメに出展予定の作品一覧を添付。

この会議後に実行委員会を行う。今回は事前予約で弁当を用意(有料)。

・10月31日(火)実施予定の「常滑・やきもの散歩道巡りと陶芸体験」の案内・申込書を本日袋詰め。陶芸体験は個人で申し込むより割安。定員は24名。希望者にはランチの用意あり。作った作品は来年の作品展に是非とも出展してほしい。

ボラ：・8月29日(火)養護老人ホーム「ほほえみ」訪問 5名参加。ギター伴奏による歌と紙芝居。

・11月18日(土)堀川清掃大作戦、担当は今年も宮の渡し公園周辺。10名参加予定。

・事務局から上期のボランティア実績集計の依頼あり。今年から他の団体等に個人レベルで参加したのも集計してほしいとのこと。(緑友会、ガイドボランティア、等)

ブロック会：・南天白ブロック会(杉山会長)を8月22日(火)養老乃瀧で開催。11名参加。

37期生向け第2回地域ミーティング

33期 地域A 青山 博美

6月16日(金)に、37期生向け第2回地域ミーティングが、原の在宅サービスセンターで行われました。当日は天白在住の37期生30名の内、13名が出席されました。(15名出席予定の所、2名が急用で欠席)天白こじょう会からはリーダー以上の5名が出席しました。小島会長、大谷鯨城学園顧問、渡邊社会福祉協議会事務次長の挨拶に続いて、出席者の自己紹介を行い、天白こじょう会の組織・昨年度の活動実績・本年度の活動計画・同好会・クラブの説明をしました。



休憩後は天白区東部いきいき支援センターの赤尾社会福祉士による「認知症について」の講演が行われました。認知症については意外と身近にある割には知らないことが多く、聞かれた人には参考になったと思います。

最近の地域ミーティングの中では出席者が多く、来年4月には是非とも多くの仲間を迎えることができるよう、大いにアピールしました。



活動報告

クリーンウォーキングに参加して

33 期 地域A 青山 博美

6月3日(土)8時45分に原のバスターミナルに16名が集合。ここから天白川沿いにピオトープまでの遊歩道が清掃範囲という事で3班に分け、1班は東側歩道から人道橋を渡り西側歩道を、2班は植原橋から西側歩道を、3班は東側歩道を行き、国道302号の歩道橋まで清掃しながら歩きました。

自分は2班だったのですが、前日の台風による風雨にも拘わらず意外とゴミが多く、特にタバコの吸い殻が目立ちました。でも普段定期的に清掃はされているようで、思ったほどのゴミ量ではありませんでした。清掃範囲は余り広くないので10~15分程度で終わるかと思いきや、細かいゴミのため意外と時間が掛かりました。



集合場所のピオトープ（近くにトイレがなくて困った）には参加したグループが100人程度集まり（天白こじょう会以外に、植田東町内会、京楽会館、東海学園大学、名城大学、中電など。他に植田中央公園愛護会もイベントに参加）、天白区長の挨拶、環境宣言、参加した各グループの挨拶があり10時30分頃閉会となりました。

鶴舞公園クリーンキャンペーン参加

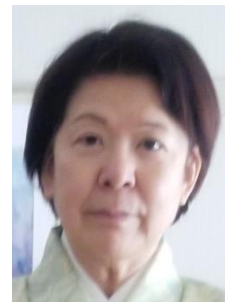
32 期 陶芸 戸谷 和代

6月17日(土)梅雨の晴れ間の好天気恵まれて気温が上昇、熱中症警報が発令される状況ではありましたが、鯉城会主催の鶴舞公園クリーンキャンペーン活動が開催されました。

天白こじょう会から12名、学生会から陶芸専攻クラス12名が参加しました。9時45分に奏楽堂南に集合し、公園担当者、名東ブロック長のご挨拶後、担当区ブロック別に火ばさみとごみ袋を持って清掃開始。野球場前からアジサイロードを中心に移動しながらゴミ拾いを行いました。

ちょうどアジサイが見ごろで、モデルと写真撮影の人達もいました。例年同様ゴミは多くありませんでしたが、最終緑化センターへ分別収集持ち込みし、解散になりました。

鶴舞公園は、5月22日にリニューアルオープンされ、新しい飲食店が何軒もできており、店舗



の前は行列ができていました。

また、コロナ感染症の5類移行を受け、午後からは野外ステージでのライブや、公会堂における6人組メンズグループ「9bic」の公演があり、大勢の若者で賑わっていました。

バラ園・あやめ池・蓮池には花が咲き誇り、花と緑と太陽を浴びた暑い日でした。



こころの絆創膏キャンペーンに参加して

32期 地域B 小島 明

9月12日(火)、4年ぶりに名古屋市健康福祉局主催の「こころの絆創膏キャンペーン」が実施されました。

我々の担当は地下鉄伏見駅改札口で午前8時～9時迄、メンバーは天白こじょう会8名、と西鯉城会9名、市から数名で3か所に別れて実施しました。

各改札口で、一人100枚の絆創膏を通行人に手渡しし、声掛けは「お早うございます、名古屋市役所です、こころの絆創膏をお配りしています」で開始しました。

しばらくはメイン改札の所に2名ずつで配布していましたが、此处は人の出入りが非常に多く、声を掛けても人通りが切れずスルーされる事が多かったので、端の改札に立ってみたら、結構受け取って頂く確率が高くなり、20分位で私の分は終了し、他の人の分も手早い、全員が終わったの

は開始後40分位でした。

天白こじょう会はその後近くのスターバックスに集合し反省会を行いました。皆さん楽しかった様です。次回も引き続き参加したいと思います。



反省会の模様

特養「ほほえみ」訪問を再開

32期 陶芸 戸谷 和代

コロナ禍で2020年2月以降施設訪問できませんでしたが、5類移行のタイミングを捉えてやっと6月から再開することができました。

以前は入居者の方の隣で一对一で公文（読み書き・足し算引き算）や数字並べを行っていましたが、コロナ禍の間はリスクを回避するため職員の皆さんだけで実施していました。

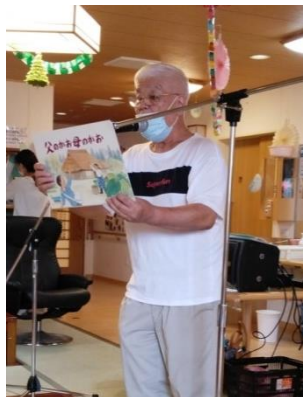
この度ギターが得意な31期の新田さんが天白こじょう会に入会されたことを受け、施設側と相談して「ギターの伴奏に合わせて、楽しく歌いましょう！」というボランティア活動を実現・施設訪問を再開しました。

新田さんに『懐かしの歌集』を手作りして頂き、6月9日午後、3年4か月ぶりに6名で「ほほえみ」に訪問しました。想定外でしたが職員さんも入居者（この日は9名）もほとんどが以前の方とは入れ替わりされていました。

7月18日(火)の2回目は、新田さんと30期フォークソングクラブ元代表の水本さんも参加！され、途中怪傑ハリマオに変身するショータイムや、34期の後藤さんお得意の「紙芝居」も披露してもらいました。

ギター演奏付きなので歌声サロンのような雰囲気でもリクエストも出され、1時間半に亘って入居者の方たちと一緒に大きな声で歌い、楽しく過ごせました。

今後も月1回ペースで訪問できればと思っています。



第22回みんなの作品展を終えて

31期 地域A 市川 正信

9月23日(土)・24日(日)に第42回天白生涯学習センターまつりが開催され、天白こじょう会としてこれに参加する形で、今年度から名称を「趣味の作品展」から「みんなの作品展」と改めて展開しました。改称したのは、多くの会員が気軽に出展し、みんなで作り上げていく作品展にしようとの考えからです。

作品展は生涯学習センター2階の視聴覚室で開かれ、2日間で279名のご来客がありました。従来の展示作品である書・絵画・俳句・絵手紙・写真・手工芸・園芸作品等59点に加え、今回は特徴的な展示として地域巡りで実施した体験活動の作品42点が出展されました。いずれの作品も力作揃いで、来場者が作品に見入っている姿や会話が弾んでいる様子があちこちで見られました。特に体験活動の作品展示では、「面白い企画ですね」「年々出展者が減っているので、自分の区でもやってみたい」「みんなが気軽に作品が出せる」などの声を聞くことができ、嬉しく思いました。

今回も多くの皆さんから作品を出展していただきましたこと、加えて、展示室の設営準備や受付や片付けのご協力をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、みんなで作り上げる作品展がさらに発展することを願っています。

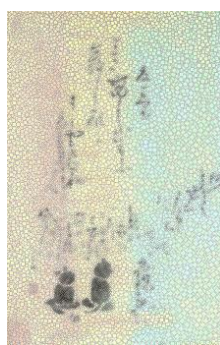


<書・短歌>



かな(1)

谷口 綾子

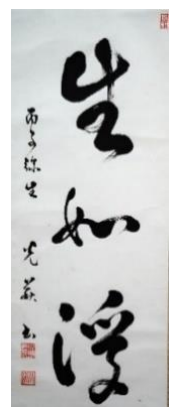


かな(2)

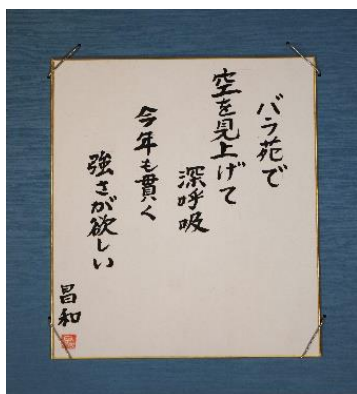


無根枝

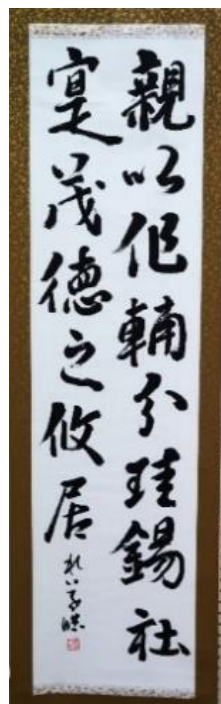
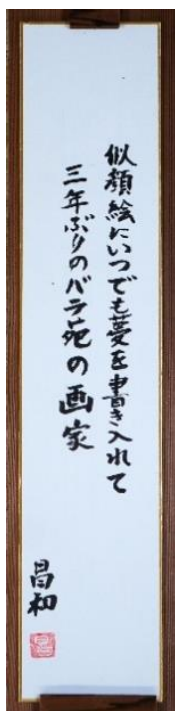
矢島 すみ江



生浮如



バラ苑 (1) バラ苑 (2)
齊藤 昌和



張猛龍碑
渡邊 れい子

＜絵画・水墨画＞



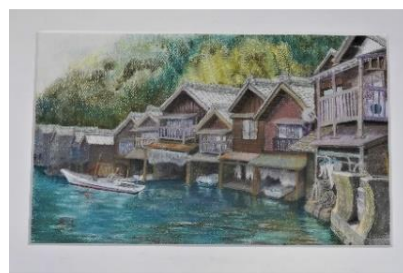
三色すみれ
加藤 さち子



月下美人



タチアオイ
稲垣 比佐代



舟屋の里・伊根



ひまわり畑
濱口 美代子



人形
寺島 静枝



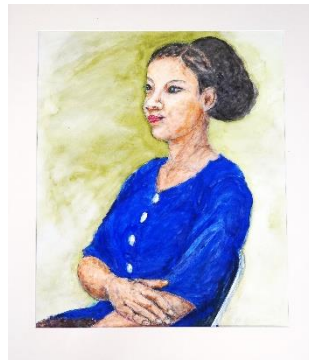
想う
夏目 祝子



クラシックカー
栗山 憲夫



民族衣装の女性
祖父江 美枝子



凜として
矢島 すみ江



ミルフォードトラック



無題
稲垣 健司



レッサーパンダ
北條 道子



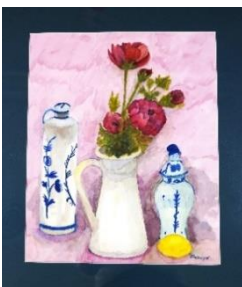
ルリビタキの休息
川島 英良 (パソコンペイント)



アセロラの果実



和
山田 芳夫



赤い花
戸谷 和代



黒電話



茶店



何かいるの?
渡邊 幸子

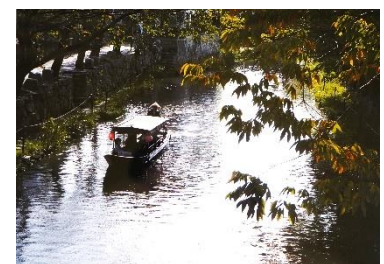
<写真>



とうとうと



なかよしこよし
市川 正信



舟下り
丹羽 美佐子



静かに咲く

宮前 裕道



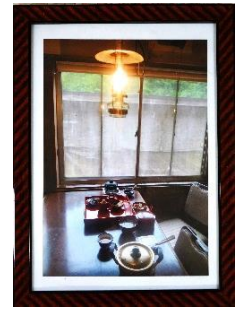
光の彩り



駒の湯山荘

ランプの宿

斉藤 昌和



青荷温泉



ヨーロッパではないよ、

梅が丘

水本 進



平安神宮神苑



高野山奥の院

小島 明



私の幸せ

渡邊れい子

＜陶芸＞



花器

加藤 一八



ととろ

戸谷 和代



花器



干支の置物

西尾 克己



練り込みつぼ

川島 英良



小鉢

<手芸・園芸>



マット

稲垣 比佐代



五月みどりテッシュBOX

加藤 さち子



スカーフ

小川 香代



ワンピース



旅に行きましょう

木下 規予



ポーチ（パッチワーク）

伊藤 初枝



パースケース



おどり葉ボタン

遠藤 信子



＜絵手紙＞



北條 道子



恒川 早苗



吉川 啓子



古橋 富美代

＜体験作品：絞り＞



絞り作品出展者

小川 香代	杉山 元浩	小島 明
松下 益子	福永 時継	青山 博美
小栗 奈津子	池田 雅子	伊藤 雅子
吉川 啓子	川島 英良	坪井 徹
宮前 裕道	新田 元廣	後藤 康正
佐々山 浩将	市川 正信	

＜体験作品：紙すき＞



秋深し
栗山 憲夫



小島 明



小島 宜子



西尾 克己



紙すき作品出展者

小川 香代	栗山 憲夫	小島 明
小島 宜子	水本 進	奥村 恵子
稲垣 健司	宮前 郁子	綿貫 幸夫
三高 邦子	上條 友	遠藤 信子
宮前 裕道	新田 元廣	青山 博美
西尾 克己	市川 正信	伊藤 雅子
佐々山 浩将	福永 時繼	後藤 康正
杉山 元浩	伊藤 初枝	久野 清和
戸谷 和代		

<パソコン研究会>



乾 昌博	近藤 文枝	金丸 正美	恒川 早苗
広瀬 貞隆	坂井 詔男	松川 春生	

伝統が息づく有松の街並み散策と有松絞体験

31 期 生活B 新田 元廣

去る5月25日に行われた「伝統が息づく有松の街並み散策と有松絞体験」に初めて参加した。

当日は曇り空だったが、街並み散策には絶好の日和となった。9時30分に有松駅に集合、すぐに「有松・鳴海絞会館」へ直行。ここでは絞体験をした。①スーパーボールや輪ゴム利用、②布に描かれた下絵利用のどちらかを選択しての体験だった。私は①のスーパーボールを選択した。小さな球を布に包み輪ゴムでギュウギュウに巻きつけるだけの比較的簡単な作業だった。一方②を選択した人たちは下絵に沿って針と糸で縫う作業で皆さん悪戦苦闘しているように見えた。どちらも染色作業を経て後日返却されるとのこと、どんな仕上がりになるか楽しみだ。

絞体験のあとは街並み散策。地元「有松あないびとの会」の皆さんの案内で3つのグループに分かれて街並み散策を楽しんだ。江戸、明治、昭和それぞれの時代の建物が今もきれいに保存され街並みを形成してることに感銘した。

1時間程の散策だったが気持ちのいいひと時だった。駅近くで自然解散、各々お目当てのお店へランチに散っていった。

私は十数名で駅近くの「CAFÉ NANA」で「鉄板エビカレー」を食べた。なるほど美味だった。お腹を満たして帰路についた。おまけの話だが、なんと翌朝このお店が名テレの「ドデスカ！」で「絶景めし エビカレー」として紹介されたのだ。ビックリ！

今回の参加者は22名。参加された皆さん、スタッフの皆さん、お疲れさまでした。



有松の古い屋敷を背に記念写真



有松・鳴海絞会館で絞体験



鉄板エビカレー

松平郷・大河ドラマ館の見学と紙すき体験に参加して

34期 環境 久野 清和

6月21日(水)、一日中曇り空のお陰で快適な観光・体験旅行となりました。というのも、名古屋はこのところ真夏にタイムスリップしたような暑さで、晴れてたら外を散策する気分ではなかったからです。参加者35名、バス車中もゆったり出来たし、熟年バスガイドさんも付いてラッキーでした。軽快な語り口は、添乗員さんとは一味違いますからね。



まず最初に行ったところは、小原和紙のふるさと。そこで紙すき体験をしました。今年度のテーマは体験ということで、先月は有松絞り体験、今回は紙すき体験の旅でした。私は、字すきを行ったのですが、指の力加減が難しく白、赤、青3色の層を生かせない。30分程乾燥し完成。その場で自分の作品を渡され、なかなかの出来栄えに顔が微笑みます。要領がわかるともう一度チャレンジしたいな〜、と後ろ髪を引かれる思いで小原を離れ真福寺に向かいました。

真福寺で竹の子料理を頂き、次に訪れたところは松平郷(ごう)です。松平東照宮と高月院を参拝しました。現地ボランティアガイドさんが3人付いて説明してくださったので理解が深まりました。徳川家康の祖先である松平氏の墓所も見学しました。石段を何十段ものぼった高いところに、始祖である親氏(ちかうじ)のお墓があったのは印象的でした。高月院の周りは見晴らしがよく紫陽花、杜若(かきつばた)が咲いていて良い目の保養となりました。時を忘れ、ずっとこの場所に居ても良い心境でした。

最後は、岡崎の「どうする家康大河ドラマ館」です。「どうする家康大河ドラマ館」は3館あることを皆さん知ってましたか？ 私は今回知りました。岡崎、浜松、静岡の3館。それぞれ特徴があるようですから、この際行ってみても良いかなと思っています。展示の中で、関が原合戦ジオラマは迫力ありました。小学生たちを釘付けにしていました。

新型コロナのため4年ぶりの日帰り旅行と聞きますが、それもあって参加者はみんな、水を得た魚のようにピチピチと若々しく輝いていました。新入会員の私としては、初めての行事参加でしたが、とても楽しいひと時となりました。準備して頂いた幹事の方々には本当にご苦労様と言いたいです。



御幸山ブロック今年度第1回行事の報告

29期 生活A 佐々山 浩将

令和5年度第1回ブロック会を、去る7月25日(火)に開催いたしました。「NHK 放送センタービル」の見学と「嘉文栄本店における昼食会」を実施しました。コロナ禍により、3年強の空白がありましたが、何とか実施できてほっとしております。

小島会長を含め10名の参加で、参加者数が少ないのが少し残念ではありましたが、「放送センター」の内部の案内・説明を聞くことができ、所期の目的は得られたと思っております。

今年度はあと2回位を計画したいと思っており、11月に2回目を予定しております。奮ってご参加ください。



植田ブロック会に参加して

33期 地域A 青山 博美

6月6日(火)4年ぶりに植田ブロック会が開催されました。11時30分に中華料理「春帆亭」に集合し開宴です。参加者は小島会長、松川ブロック長をはじめ今期の新人(久野さん、後藤さん)など、14名です。全会員28名の半分に満たない出席者でしたが、今までお会いしたことのない方々のお顔を拝見することができました。

昼食会は2つのテーブルに分かれての懇談でしたが、自己紹介のあと自分が話の種としてお持ちした冊子「植田地区の江戸時代(1745年頃)の絵図と昭和22年、昭和52年、平成27年の航空写真」により、植田地区の移り変わりをご覧いただきました。1時間半ほどの短い時間ではありましたが、美味しい中華料理とビールを堪能しながら和やかな昼食会となりました。

今まで言葉を交わすことができなかった先輩方のお話も伺うことができ、楽しい一時を過ごさせて頂きました。



南天白ブロック会に参加して

31 期 生活B 伊藤 初枝

8月22日(火) 17時～19時、養老乃瀧野並店にて11名の出席でブロックの親睦会を開催いたしました。

当日は、小島会長にもご出席を頂き、会長から鯨城会・天白こじょう会の現状についての報告をお話しいただきました。



参加者全員の近況報告等を発表しあい、お体の不調だったお話やボランティアの活躍のお話などを笑いも交えて楽しく和やかに交歓しあいました。

健康に留意して次回も元気に集まれることを楽しみにしております。

太極拳同好会初めての懇親会を開催

31 期 生活B 新田 元廣

太極拳同好会は昨年8月に発足した、天白こじょう会の中で一番新しい同好会です。月3回、金曜日、原のコミュニティセンターで午後1時30分から2時間活動しています。馬場会長を始め米澤さん、高橋さん、川上さんら有資格者の方が毎回熱心に指導してくださっています。楊名時太極拳は健康太極拳です。「八段錦」と「24式太極拳」を焦らず、ゆっくり、そして競わず、一つの型を何回も繰り返し稽古しています。物覚えの悪い私でも続けられています。

4月に34期生の仲間(若原さん)を迎え、歓迎会も兼ねて発足以来念願だった初めての懇親会を6月16日(金)に開催しました。会場は原の「てんぐ大ホール」で、13名が参加しました。稽古後でもあった為か、冷たい生ビールや酎ハイがグイグイ進み、沢山の料理でお腹も一杯に。宴も

たけなわになった頃、馬場会長のリードで、同好会発足から10か月経過しての太極拳への想いとか成果・苦労話を一人一人話して貰いました。チャチャを入れながらもお互いの話を真剣に聞き、一層絆を強くした有意義なひと時でした。



戸笠公園清掃仲間と共に

19期 国際 野々山 淑子

近年の厳しい夏の暑さにもめげず、毎回数名のメンバーが戸笠公園の清掃に参加しています。9月も終わりに近づき漸く少し涼しくなってきました。心地よい朝の空気の中、仲間が三々五々と集まり9時にゴミ拾いを開始。大きなメタセコイヤなどの並木の木陰での作業は快適である。

ゴミと言っても、ここ10年程度は本当に少なくなった。私が参加を始めた20年位前は、指定されたゴミ袋10～20袋程が満杯になった。季節によってゴミは増減するが、特に夏場は多かった記憶がある。市民のマナーが良くなったのか、公園を訪れる人が少なくなったのか、あるいは清掃活動の成果？で公園がきれいになったので捨てる人が躊躇うようになったのかもかもしれませんね。



メンバーの中にお一人、隣の緑区側から戸笠池の柵を越えて参加され、沢山のゴミを拾ってくれる元気な男性がおられます。「公園は緑区にも跨っているので天白の人達だけに清掃してもらっては申し訳ない」とずっと参加されています。緑鯉城会会員ですが、集められるゴミの量は私たちの10倍超えの大活躍です。



歩くとき息切れしてしまい体力の衰えを痛感している私にとって、ゴミ拾いの清掃活動に参加することで仲間とコミュニケーションができ、更にはマイペースで歩くことで良い運動になることが嬉しくて参加しています。



9月16日(土)に、そういう仲間と暑気払いを兼ね、緑区の“四季亭”で昼食会を楽しみました。話題の中心はご多分に漏れず健康の話となりましたが、いろいろな体験談をお聞き出来てとても参考になりました。

ただ、新しい仲間が増えないのが寂しいです。



戸笠公園



新潟県魚沼市・ランプの宿にて

26期 国際 斉藤 昌和

旅の目的は人により異なりますが、日常から離れて、非日常の世界で温泉に入り、家族や友人と食事して体も心も癒して、明日への活力を養うことではなかろうかと思います。鉄道の好きな方は時刻表で行く先を調べて、キップを買って各駅停車で行くか、又特急や快速で行くか目的地までの時間を調べて行く楽しみがあります。旅行会社に依頼すればすべて手配してくれますが、私の場合はすべて一人でやった為に、予約したホテルが悪かったり、又遅れたり失敗が多くあります。



ところで日本でランプの宿は6ヶ所あります。たいていは山奥にあり電話やテレビもなく交通が不便で、決して快適なところではないのですが、なぜか最近若い人にも人気があるようです。

私は12年程前に青森県黒石市の青荷温泉に行きました。これは学科の卒業時の東北旅行で旅行会社がランプの宿を選んでくれたからです。それ以来ランプの宿が気に入り、2回目は中津川の渡合温泉、3回目の今回は新潟県魚沼市の駒の湯山荘に決めました。それは映画の「峠」を見て新潟県長岡市の河井継之助* 記念館に行った折、ぜひ泊まってみたいと思ったからです。



この宿は新潟県の豪雪地帯の中にあり11月の初頃から5月末まで休館されております。そのために6月初旬に行きました。宿には緊急用の衛星電話がありましたが、通常客は緊急時以外に利用できません。電気を使わずエアコンや扇風機もない、テレビもない、闇の中でランプだけは暗くて本も読めない。一人なので話し相手もなく、しかたなく早寝をしました。食事はその日取れた川魚や山菜、キノコ中心なので冷蔵庫は不要。炊飯、調理はLPガス。源泉の温度は30度と低く、川沿いと室内と屋外の3ヶ所にあり、日帰り客も利用できるようになっていました。当日はランプの宿愛好の70代の客3人が千葉県木更津市から来ており、温泉の中で会話に花が咲き、食事時にはお酒で乾杯をして楽しい一時を過ごすことができました。

以前、九州の柳川の宿で北海道の新冠（にいかつぶ）の人と親しくなりスナップ写真を送ったら北海道に来た時に寄って欲しいと言われ、後日お伺いしたまでは良かったのですが、帰りの列車に乗り遅れて苫小牧港まで車で送って頂いたことがありました。旅先でスリに財布を盗まれたことや、眼鏡を破損して時刻表が読めなくて困ったこともありました。今回は、車で3日間1,000キロ走行しましたが、無事故で帰宅できたのは感謝な事です。

※ 河井継之助：幕末の長岡藩武士で、上席家老となり藩政改革を断行。

戊辰の戦いには中立を唱えたが受け入れられず、抗戦を決意。軍事総督となって一旦は敵の手に落ちた長岡城を奇襲で奪還するも、再度の落城で長岡軍は会津へと向かう。傷を負った継之助は、途中、塩沢村（現在の福島県只見町）で悲運の最期を遂げた。



行事予定表（11月～3月）＊10月末時点での予定です。変更・中止にご注意下さい。

行 事		実 施 予 定 日 ・ 時 間 等					場 所	担当者 (令和5年度)
		11月	12月	'24/1月	2月	3月		
役員会		10(金) 13:00 袋詰・役員会	9(土) 13:30 役員会	20(土) 13:30 役員会	10(土) 13:30 役員会	15(金) 13:00 袋詰・リガー	太白在宅 サービス センター、 生涯学習 センター、 他	小島 明 青山博美
拡大役員会・総会		拡大 11(土) 13:30～				拡大 16(土) 13:30～		
広 報 こじょう会だより ホームページ更新		11(土) 109号				16(土) 110号		川上茂雄
		随時						
行 事			7(木) 地域巡り (名大周辺)	11(木) 初詣 (針名神社)	16(金) 研修会 (薬局利用)	7(木) 地域巡り (史跡散策)		市川正信
鯨城会関連行事		16(木) 16区7区 堀川清掃		12(金) 公開講座		7(木) OB文化祭 10(日) 刈 刈マツ		
						(日程未定) 心の絆創膏		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	植田中央公園 愛護会	毎月第1,3土曜日 (雨天の場合翌日)				9～10時	植田中央公園	坂井詔男
	戸笠公園愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌日)				9～10時	戸笠公園	杉山元浩
	天白川緑道清掃	毎月第2金曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)				9～10時	天白区役所	豊田悦造
	天白公園第4愛護会	毎月第4土曜日 (雨天の場合翌日)				9～10時	天白公園	水野正弘
	第三街路樹愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)				9～10時	植田公園	小山良太
	施 設 訪 問	調整中 調整しつつ実施 イベント応援（先方からの連絡待ち）					あしたの丘 特養ほほえみ 寿荘	戸谷和代
同 好 会	グラウンド ゴルフ	毎週木曜日 毎週金曜日				9～12時	植田中央公園 天白公園	林口 強
	リズム体操 クラブ	毎月1、2、4 の月曜日 (祝日や講師の都合で変更あり)				10～11:30	平針新公民館	斉藤昌和
	カラオケ同好会	毎月第1月曜日				14～16時	ジャパソフ カー/天白	綿貫幸夫
	天天会(食事会)	毎月20日				16～18時	てんぐ原店	西かずゑ
	アウトドア会	(未定)						斉藤昌和
	史 跡 散 策	(未定)				行事Gと 共催		佐治 學
	パソコン研究会	毎月第1、2、3月曜日				13:15～14:45	生涯学習 センター	金丸正美
	囲碁同好会	毎月第3水曜日				13～16:30	原コミセン	西尾克己
	健康ウォーク	毎月第1水曜日					地下鉄原駅 9:30集合	水野正弘
	麻雀同好会	毎月第1木曜日				13～17時	八事東 コミセン	佐々山浩将
	太極拳同好会	毎月3回、金曜日				13:30～15:30	原コミセン	馬場興樹

〈訃報〉

鈴木 泰治 さん

原ブロック 23 期 文化 B

10 月にご逝去されました。

パソコン研究会会長として永年会員
の IT スキル向上に貢献されました。
また、古文書研究・解読にも造詣が
深く、地域文化の向上に貢献されま
した。

謹んでお悔やみ申し上げます。

短歌 4 首

26 期 国際 斉藤 昌和

- ・ 枕辺には鈴置き図鑑並べ置き
青年君は星座を語る
- ・ 紅顔の白衣の折目清らかに
年祝いの餅われにもくれぬ
- ・ 数千の年を経て届く星光は
虐げられし子も包むなり
- ・ 両国へ無人機飛ばせ時くために
兵器にあらず友愛のたね

〈編集後記〉

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、流石の猛暑も彼岸が過ぎた辺りから急に涼しくなり、そろそろ今年の「流行語大賞」や「今年を表す漢字一文字」が話題に上る時期になってきました。猛威を振るったコロナ感染症も 5 類に移行され、大相撲や野球観戦でもいろいろな規制が解除されて TV を賑わせています。この夏には多くの地域で「4 年振りの花火大会」が復活開催されました。

米大リーグでは大谷翔平選手が日本人初のホームラン王を獲得し、国内では瀬戸市出身の藤井聡太七冠が「最年少（21 才）で前人未到の八冠制覇という偉業を達成！」との歴史に残るニュースがもたらされました。

当こじょう会でも、名称を変更した「みんなの作品展」を盛況の内に終えることができました。長らく中断していた施設訪問のボランティア活動も新しいスタッフを加えて再開し、好評を得ています。まだまだ手放して安心して活動できる状況とは言えませんが、こじょう会活動を通して仲間との絆を一層深め、健康長寿を謳歌して人生 100 年時代の実現に向けて頑張りましょう。

「こじょう会活動にいつ参加しますか？ 今でしょ !!」

広報リーダー 川上 茂雄



天白公園

〈編集スタッフ〉

発行責任者	小島 明
広報リーダー	川上 茂雄
編集委員	宮前 裕道 福永 時継
	遠藤 信子 青山 博美
	久野 清和 若原 高生